

様式2（計画用）

「越前市行財政システム改革プラン（素案）」に関するパブリック・コメント結果

案件名	越前市行財政システム改革プラン（素案）について								
実施期間	令和5年12月15日（金）～ 令和6年1月11日（木）まで								
趣旨	<p>このプランは、市民と職員のウェルビーイング（幸せの実感）の向上を目指し、新たな行財政の改革を進めるための指針として定めるものです。</p> <p>現在、人口減少・高齢化社会が到来し、また、住民ニーズが多様化・複雑化する一方で、職員体制の急激な若返りや社会的な働く意識の変化により、組織力の低下や働き方の変化が進んでいます。</p> <p>そして、従来型の市役所の組織風土や行政プロセス、改革手法ではこういった変化への対応が難しくなりつつあります。</p> <p>新たな視点に立った改革を行うことで、市民に喜ばれる、職員がより生き生きと働ける、持続可能な越前市を目指していきます。</p>								
意見提出者数 （件数）	1人（1件）								
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入	合計
				1					1
意見に対する回答	以下のとおり								

No	年齢	該当する箇所	ご意見の要旨（原文）	越前市の回答
1	50代	P.20 成果指標	<p>市職員の対応が良いと感じる市民の割合</p> <p>↓</p> <p>【意見】「市職員が市民のために役立つ仕事をしている、と感じる市民の割合」に変更してはどうでしょうか。</p> <p>（理由）職員の対応（成果＝対応の良さ）も良いと思いますが、このプランの目指すところはP4のとおり市民と職員のウェルビーイングの向上なので、市民に役立つ仕事をしている（成果＝役立つ）方がじっくりくると思います。</p>	<p>この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご提案いただいた「市民に役立つ仕事をしていると感じるかどうか」という評価指標につきましては、市民のウェルビーイングを把握する大変分かりやすい指標であり、成果指標の一つとして追加いたしました。</p> <p>なお、プランの素案に掲載した成果指標案「市職員の対応が良いと感じる市民の割合」の意図につきましては、以下のとおりです。</p> <p>（原案の意図） 市役所の業務は法令で定め</p>

様式2 (計画用)

				<p>られたものから市独自のものまで多岐に渡っております。</p> <p>そういった業務を確実に行うだけでなく、市民目線に立って市民サービスの向上を心がけ、業務を真摯に行うという、もう一歩進んだ対応が取れているか把握できるように「職員の対応が良いと感じる市民の割合」を成果指標の案としました。</p>
--	--	--	--	--